



# 人間の愚かさの中に

## 鑛山従業者の天の恵み

石原産業株式會社

會長 石原 廣 一 郎

世の末が来たのではないか。政治の中心である議會からして醜態のかぎりをつくしている。斯る姿が萬民に響き、金を借りても返さない。税金は納めない。働かずして金を求める工夫をする。法に違反しても知れなければ良い。智能犯は益々増え、強盜殺人集團暴行で、警察は窃盜までは手が廻らぬ。親は子を養う義務があるが、子供は親を養う義務はない。墮胎避妊、競馬競輪にパチンコの流行。人間の本質を失い、全く今の世は人間社會にあらずして獸の社會と化した観がある。釋迦は淨土三部經の中に、人間の精神状態や社會の現象と変遷の段階を、地獄界、畜生界、餓鬼界、阿修羅界、人間界、天上界、声聞界、緣覺界、菩薩界、佛界の十界に區分して迷と悟りを説いている、此の筆法で現代に當てはめると、太平洋戦争は地獄界、終戦後の世相は全く畜生界から餓鬼界に相

當する。この順序で次に來るものは阿修羅界即ち動亂革命の大悲劇が起ると言ふことになる。然し斯様な不幸は避けねばならぬ、又望むべきことではなく、大自然の大きな動向の中に生きる人間としては、時代の移り變りは人間の力の及ばざる所で、自然の流れに添うて生きなければならぬのであるが、現代に生きる者としては現在の社會動向の實相を再検討して見ることは無駄ではない。昨今人間は何故に戰の様な生活を始めたか、それは人間が飯を喰う自信を失い、先の希望が持てない時代が來た。人間が知らず／＼の間に斯る時代を作つて來たのである。今から二千年前エジプト唯物文化時代の繁榮もクレオパトラを最後として没落し、ローマ唯神文化時代は七百年にして亡び、再びアリストテレス学派を経て、現在の唯物文化時代が發足して一千三百年になる。文化が

日本鑛業協會誌(第五卷第八號)

### 八月號目次

(卷頭言)

☆人間の愚かさの中に

鑛山従業者の天の恵み……石原広一郎…一

(論説)

☆最近に於ける主要非鐵金屬市況の

概況と展望……………吉村貞夫…三

☆資本と埋藏鑛量……………奥村誠次郎…六

(協會賞受賞研究)

☆三川鑛山に於ける

經營合理化について…佐藤紀美男…三

☆金屬鑛業對策要望書……………六

☆月間の動き……………三

(鑛山の科学管理)

☆科學的管理雜感……………三

▽協會だより……………三

▽ニュース……………三

▽資料……………三

【表紙写真】

太平鑛業細倉鑛業所 亜鉛電解工場